

2. 概 要

2-1 入港船舶の概要

宮城県全港湾入港船舶前年比較表

港別（港區別）		令和元年（A）	構成比（%）	平成30年（B）	増減（A）-（B）	前年比（%）
合 計	隻 数	34,728	100.0	34,998	△ 270	99.2
	総トン数	58,429,448	100.0	61,500,085	△ 3,070,637	95.0
仙 台 塩 釜 港	隻 数	29,038	83.6	29,006	32	100.1
	総トン数	58,082,125	99.4	60,981,524	△ 2,899,399	95.2
仙 台 塩 釜 港 （ 仙 台 港 区 ）	隻 数	6,557	18.9	6,985	428	93.9
	総トン数	49,182,235	84.2	51,791,948	△ 2,609,713	95.0
仙 台 塩 釜 港 （ 塩 釜 港 区 ）	隻 数	9,218	26.5	8,999	219	102.4
	総トン数	3,007,717	5.1	3,273,365	△ 265,648	91.9
仙 台 塩 釜 港 （ 石 巻 港 区 ）	隻 数	2,660	7.7	3,067	△ 407	86.7
	総トン数	4,962,987	8.5	4,982,651	△ 19,664	99.6
仙 台 塩 釜 港 （ 松 島 港 区 ）	隻 数	10,603	30.5	9,955	648	106.5
	総トン数	929,186	1.6	933,560	△ 4,374	99.5
気 仙 沼 港	隻 数	194	0.6	417	△ 223	46.5
	総トン数	132,661	0.2	301,454	△ 168,793	44.0
そ の 他 港 湾	隻 数	5,496	15.8	5,575	△ 79	98.6
	総トン数	214,662	0.4	217,107	△ 2,445	98.9

令和元年における宮城県内全港湾の入港船舶の合計は、隻数が 34,728 隻、総トン数が 58,429,448 総トンであり、前年と比較して、隻数で 270 隻（0.8%）減少し、総トン数では 3,070,637 総トン（5.0%）減少している。

各港別の隻数については、仙台塩釜港が 29,038 隻で宮城県内全港湾の 83.6%を占めて最も多く、そのうち松島港区が 10,603 隻で、宮城県内全港湾の 30.5%を占めている。

総トン数については、仙台塩釜港が 58,082,125 総トンと宮城県内全港湾の 99.4%を占め、そのうち仙台港区が 49,182,235 総トンと宮城県内全港湾の 84.2%を占めている。次いで、石巻港区が 4,962,987 総トンで宮城県内港湾の 8.5%、塩釜港区が 3,007,717 総トンで、宮城県内全港湾の 5.1%となっている。

宮城県全港湾平均船型の推移

(単位：総トン)

港別（港區別）	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
全 港 湾	1,404.6	1,377.5	1,550.3	1,689.7	1,757.2	1,682.5
仙 台 塩 釜 港	2,716.2	1,719.5	1,867.7	2,096.9	2,102.4	2,000.2
仙台塩釜港(仙台港区)	6,462.1	6,508.7	6,801.9	7,325.4	7,414.7	7,500.7
仙台塩釜港(塩釜港区)	329.7	320.2	344.5	402.9	363.7	326.3
仙台塩釜港(石巻港区)	1,486.8	1,395.4	1,411.1	1,502.7	1,624.6	1,865.8
仙台塩釜港(松島港区)	101.8	96.9	93.1	92.0	93.8	87.6
気 仙 沼 港	609.2	658.0	809.6	798.4	722.9	683.8
そ の 他 4 港	73.0	38.1	38.2	39.8	38.9	39.1

2-2 海上出入貨物の概要

宮城県全港湾海上出入貨物前年比較表

区 分		令和元年 (A)	構成比 (%)	平成30年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計		44,102,757	100.0	49,473,693	△ 5,370,936	89.1
外貨貨物	輸 出	1,736,851	3.9	1,969,276	△ 232,425	88.2
	輸 入	13,308,328	30.2	14,044,533	△ 736,205	94.8
	計	15,045,179	34.1	16,013,809	△ 968,630	94.0
内貨貨物	移 出	13,143,678	29.8	15,046,586	△ 1,902,908	87.4
	移 入	15,913,900	36.1	18,413,298	△ 2,499,398	86.4
	計	29,057,578	65.9	33,459,884	△ 4,402,306	86.8

令和元年における宮城県内全港湾の取扱貨物量の合計は 44,102,757 トンであり、前年と比較して 5,370,936 トン (10.9%) 減少している。

そのうち、外貨貨物は 15,045,179 トンで全体の 34.1%、内貨貨物は 29,057,578 トンで全体の 65.9% となっている。

宮城県全港湾主要取扱貨物前年比較表 (82品目)

品 種		令和元年 (A)	構成比 (%)	平成30年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計		44,102,757	100.0	49,473,693	△ 5,370,936	89.1
999 自航(フェリー)		9,170,175	20.8	9,231,425	△ 61,250	99.3
252 完成自動車		7,314,908	16.6	9,989,551	△ 2,674,643	73.2
171 原油		5,466,999	12.4	6,336,019	△ 869,020	86.3
320 揮発油		1,797,561	4.1	1,701,257	96,304	105.7
281 セメント		1,626,179	3.7	1,809,822	△ 183,643	89.9
311 重油		1,322,670	3.0	1,787,135	△ 464,465	74.0
その他		17,404,265	39.5	18,618,484	△ 1,214,219	93.5

取扱貨物については、自航(フェリー)が 9,170,175 トンと取扱貨物量全体の 20.8%を占め、前年と比較して 61,250 トン (0.7%) 減少している。

自航(フェリー)を除いた主な品種は、完成自動車、原油、揮発油であり、それらで取扱貨物量全体の 33.1% を占めている。

(1) 輸 出

宮城県全港湾主要輸出貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和元年 (A)	構成比 (%)	平成30年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計	1,736,851	100.0	1,969,276	△ 232,425	88.2
351 化 学 薬 品	402,465	23.2	431,582	△ 29,117	93.3
451 ゴ ム 製 品	251,855	14.5	442,504	△ 190,649	56.9
481 金 属 く ず	215,688	12.4	255,365	△ 39,677	84.5
321 そ の 他 の 石 油	189,975	10.9	32,875	157,100	577.9
222 鋼 材	163,923	9.4	159,719	4,204	102.6
381 紙 ・ パ ル プ	111,977	6.4	95,677	16,300	117.0
そ の 他	400,968	23.1	551,554	△ 150,586	72.7

輸出は 1,736,851 トンで、貨物量全体の 3.9%であり、前年と比較して 232,425 トン（11.8%）減少している。

主な品種は、化学薬品、ゴム製品、金属くずであり、それらで輸出全体の 50.1%を占めている。

(2) 輸 入

宮城県全港湾主要輸入貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和元年 (A)	構成比 (%)	平成30年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計	13,308,328	100.0	14,044,533	△ 736,205	94.8
171 原 油	5,304,845	39.9	5,826,560	△ 521,715	91.0
111 木 材 チ ッ プ	1,201,500	9.0	1,185,487	16,013	101.4
322 L N G (液 化 天 然 ガ ス)	964,953	7.3	1,079,475	△ 114,522	89.4
131 石 炭	913,300	6.9	997,658	△ 84,358	91.5
320 揮 発 油	738,614	5.6	657,552	81,062	112.3
323 L P G (液 化 石 油 ガ ス)	733,364	5.5	645,934	87,430	113.5
そ の 他	3,451,752	25.9	3,651,867	△ 200,115	94.5

輸入は 13,308,328 トンで、貨物量全体の 30.2%を占めており、前年と比較して 736,205 トン（5.2%）減少している。

主な品種は、原油、木材チップ、LNG（液化天然ガス）であり、それらで輸入全体の 56.2%を占めている。

(3) 移 出

宮城県全港湾主要移出貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和元年 (A)	構成比 (%)	平成30年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計	13,143,678	100.0	15,046,586	△ 1,902,908	87.4
999 自航(フェリー)	4,427,880	33.7	4,414,990	12,890	100.3
252 完成自動車	4,197,034	31.9	5,472,506	△ 1,275,472	76.7
311 重油	1,077,610	8.2	1,496,246	△ 418,636	72.0
451 ゴム製品	602,988	4.6	402,532	200,456	149.8
320 揮発油	360,620	2.7	341,570	19,050	105.6
321 その他の石油	325,529	2.5	485,400	△ 159,871	67.1
その他	2,152,017	16.4	2,433,342	△ 281,325	88.4

移出は 13,143,678 トンで、貨物量全体の 29.8%を占めており、前年と比較して 1,902,908 トン (12.6%) 減少している。そのうち、自航(フェリー)が 4,427,880 トンと移出全体の 33.7%となっており、前年と比較して 12,890 トン (0.3%) 増加している。

自航(フェリー)を除いた主な品種は、完成自動車、重油、ゴム製品であり、それらで移出全体の 44.7%を占めている。

(4) 移 入

宮城県全港湾主要移入貨物前年比較表（82品目）

品 種	令和元年 (A)	構成比 (%)	平成30年 (B)	増減 (A)-(B)	前年比 (%)
合 計	15,913,900	100.0	18,413,298	△ 2,499,398	86.4
999 自航(フェリー)	4,742,295	29.8	4,816,435	△ 74,140	98.5
252 完成自動車	3,116,420	19.6	4,515,874	△ 1,399,454	69.0
281 セメント	1,616,514	10.2	1,803,837	△ 187,323	89.6
161 砂利・砂	799,997	5.0	844,709	△ 44,712	94.7
321 その他の石油	754,718	4.7	803,725	△ 49,007	93.9
222 鋼材	722,791	4.5	692,650	30,141	104.4
その他	4,161,165	26.1	4,936,068	△ 774,903	84.3

移入は 15,913,900 トンで、貨物量全体の 36.1%を占めており、前年と比較して 2,499,398 トン (13.6%) 減少している。そのうち、自航(フェリー)が 4,742,295 トンと移入全体の 29.8%となっており、前年と比較して 74,140 トン (1.5%) 減少している。

自航(フェリー)を除いた主な品種は、完成自動車、セメント、砂利・砂であり、それらで移入全体の 34.8%を占めている。